

TACMEDA トレーニングシナリオ

Tactical Medicine ESSENTIALS、ヨルダン特殊作戦訓練センターKASOTC（カソテック）、ITLS ミリタリーコースでの受講経験、ITLS 国際メディカルラリー出場経験、アメリカ、フランス、アフリカでの防衛展の取材、世界13か国に及ぶ総合的救命手当教育実績から、国際情勢を踏まえて日本に最も重要な内容で構成されています。

1 隊の救急隊で同時に4人の手術が必要な傷病者に対応することを基準としていますが、自隊だけではなく、通行人やファーストレスポnderなどを活用しなければ最大救命を達成できないように組み立てられているので、資格や経験に関係なく誰もが救命のための重要な役割を担っていることを体験的に学べます。

これは、重症傷病者が多数同時に発生した場合、応援の救急隊が直ぐに来るとするのは現実的ではないためです。例えば渋谷区であれば、人口が平成30年4月1日現在22万6千人以上に対し、救急隊は7～8隊です。応援を呼ぶことは必須ですが、直ぐには来られないでしょう。限られた人数で対処することを日常から行っておく必要があります。人は経験していないことは出来ないものですし、いざという時に意識を切り替えることは出来ないためです。また、意識を切り替えれば能力が2倍、3倍に向上するのでしょうか。そんなことは無いが故に多数傷病者対応を日常からしておくことが重要であり、海外の外傷対応コースでは多数傷病者対応シナリオが標準になりつつあります。

TACMEDA シナリオトレーニングは TacMed Advanced コースにて千葉会場と札幌会場・常設展示場で受講することができます。

TacMed Advanced コース未受講者でも DAMAT 研修履修者、JPTEC や ITLS などの教育プログラム受講者の方はチャレンジ参加することができます。シナリオトレーニングの内容を見て、チャレンジ参加前に銃創、爆傷などについて補完学習が必要な方は TACMEDA 開催の「救命止血法総合講習」や「致命的外傷総合対応コース」を受講されてください。

シナリオ 1

薬物中毒者による銃を用いた殺傷事件

傷病者内訳

容疑者 オピオイド中毒 拳銃所持

被害者 1 拳銃弾による胸部貫通銃創 下腿貫通銃創

被害者 2 拳銃弾による大腿部貫通銃創

被害者 3 拳銃弾による頭部損傷

習得目標

AVPU 法による非接触トリアージと意識レベルの評価

銃創の救急処置の基本

オピオイド中毒の徴候の早期発見・評価・救命

致命的6大胸部損傷の鑑別と評価

CABNアプローチによる迅速な生理学的評価

解剖学的評価における適切な重点観察・迅速全身探索の選択

シナリオ2

乗用車2台による衝突事故 妊婦

単独事故よりも運動エネルギー大

車両破壊甚大 エンジンより出火

傷病者内訳

運転手1 骨盤骨折 シートベルト解除困難

運転手2 救出困難 胸部損傷

同乗者1 小児 チャイルドシート固定 頭部損傷

同乗者2 小児 サブマリン現象 救出困難 腹部損傷

習得目標 シナリオ1+

エンジンルーム火災の緊急消火

トランクルーム火災の緊急消火

自動車窓ガラスの安全な割り方

シートベルトの迅速な切断法

救出器具・方法の適切な選択

骨盤骨折の安定化

小児の生理学的評価

小児の車外救出

シナリオ3

乗用車1台による衝突横転事故

車両破壊甚大 救出困難

傷病者内訳

運転手1 骨盤骨折 頭部損傷

同乗者1 後頭部に血腫 頭蓋底骨折 腹部損傷 骨盤損傷 両脚からの出血

同乗者2 小児 チャイルドシート固定 胸部損傷

同乗者3 小児 サブマリン現象 救出困難 下腿損傷

習得目標 シナリオ1 + 2 +

横転した車体からの救出

全てのドアが開かない車体からの救出

適切な脊椎頸椎保護

頭部損傷の鑑別と評価

シナリオ4

マラソン大会中 マラソンランナー集団への乗用車突入テロ

(負荷：自転車レース 大型トラック ライフル銃の乱射 爆発物 多数傷病者)

時速80Kmでの突入 運動エネルギー大

傷病者内訳

運転手 拳銃所持 体表面30%のⅢ度熱傷 気道熱傷

歩行者1 大腿部骨折 緊張性気胸

歩行者2 腹部損傷 下腿損傷

歩行者3 胸部貫通銃創 開放性気胸

習得目標 シナリオ1 +

乗用車突入に対する退避法

暴走自動車の安全な停止法

10人の重症傷病者に1名の医療従事者で対処する方法

SALT システムによるトリアージ

シナリオ5

建設中3階バルコニーからの転落

運動エネルギー大

傷病者内訳

転落者1 低血糖 骨盤骨折 頭皮損傷 腹部損傷

転落者2 両手首の骨折 両肺の緊張性気胸 両大腿部骨折

転落者3 脳挫傷 両手首の骨折 両肺の緊張性気胸 骨盤骨折 両大腿部骨折

転落者4 鉄筋による大腿部貫通創 腹部貫通創

習得目標 シナリオ1 + 3 +

穿通性異物の固定法

適切な頸椎脊椎保護具の選択

シナリオ6

銃・爆発物による野外襲撃事件（負荷：IV・V爆傷 複数の爆発 ライフル銃による銃撃
多数傷病者 多発外傷）

傷病者内訳

容疑者 両大腿部 ライフル弾貫通銃 ナイフ所持 ポケットに凶器

被害者1 頭蓋底骨折 大腿部単純骨折 下腿銃創 前腕銃創

被害者2 I・II爆傷 両手両足に軽度の破片創 歩行可能

被害者3 I・II・III爆傷 両脚の離断、片腕の離断 片腕に重度の破片創

習得目標 シナリオ1 + 3 + 4 +

銃乱射からの安全な退避法

爆発物からの安全な退避法

爆発物事件現場への安全なアプローチ法

爆轟・爆燃の鑑別と適切な対処

爆轟事件発生時の適切な治療施設への指示

両手両脚を損傷した傷病者に3分で輸液路を確保する方法

シナリオ7

オートバイと乗用車による連続衝突事故 歩行者巻き込み

単独事故よりも運動エネルギー大

（負荷：車両炎上・爆発 多数傷病者）

傷病者内訳

オートバイ運転手 両脛骨骨折 脊髄損傷

乗用車運転手 胸部損傷

歩行者1 高齢者 胸部 頭部損傷

歩行者2 妊婦 大腿部損傷 腹部損傷

習得目標 シナリオ2 + 3 +

高齢者の救護

妊婦の救護

シナリオ 8

オフィスビル内での爆破テロ（負荷：Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ爆傷 複数の爆発 ライフル銃による銃撃 多数傷病者）

傷病者内訳

容疑者 両大腿部 ライフル弾貫通銃 ナイフ所持 ポケットに凶器

被害者 1 Ⅳ爆傷 後頸部圧痛 頸椎の変形 気道損傷を伴う顔面熱傷 前頸部にⅡ度熱傷

被害者 2 Ⅳ爆傷 小児 全身にⅡ度熱傷

被害者 3 Ⅳ爆傷 気道損傷を伴う顔面熱傷 前胸部にⅡ度熱傷

習得目標 シナリオ 1 + 3 + 6 +

熱傷傷病者の救護

各種気道確保

1分以内に外科的気道確保を行う方法

シナリオ 9

発電所への乗用車突入（負荷：大型トラック 原子力発電所 CBRNe 多数傷病者）

傷病者内訳

容疑者 オピオイド中毒 ハンドル外傷

被害者 1 両大腿骨単純骨折 有毒物質による汚染

被害者 2 骨盤骨折 胸部損傷 有毒物質による汚染

被害者 3 両脛骨骨折 有毒物質による汚染

習得目標 シナリオ 1 + 3 + 8 +

除染所の設営と運営

有毒物質からの防護

水を使わず90%除染する方法

シナリオ 10

発電所の倒壊（負荷：有毒物質 多数傷病者）

工場の倒壊

傷病者内訳

傷病者 1 両大腿骨の骨折 骨盤骨折

被害者 2 胸部の持続的圧迫

被害者 3 頭部損傷

被害者 4 ガラス片による両腕の損傷 腸管脱出

習得目標 シナリオ 1 + 4 + 9 +

傷病者集合点の設置と運営

応急外科治療施設の設置と運営

緩衝地域の設置

ヘリコプターの運用